

ふくし ふれあい

CONTACT WITH WELFARE

冬号
2025年
1月10日
No.86

発行 一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会 発行者 友田孝行 編集者 石本治行 E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp
事務局 〒862-0976 熊本市中央区九品寺1丁目17-9 TEL096-375-6029 FAX096-375-6030
http://kumamoto.rofuku.net/

新年の
ごあいさつ

2025国際協同組合年を契機に、 労働者福祉運動のさらなる発展を目指して

一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会 理事長 友田 孝行

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、労働者福祉運動の前進に向けた取り組みとともに、福祉事業団体の事業推進に対するご理解とご協力に厚く御礼申し上げます。



さて、昨年末には「全国福祉強化キャンペーン」の一環として、九州労働金庫熊本県本部、こくみん共済coop熊本推進本部及びユニオントラベル熊本が帯同し、加盟労働団体への訪問活動を行いました。労働者自主福祉運動のさらなる推進強化の要請をはじめ、この間、取り組みを

進めている「高等教育費の負担軽減」に向けた署名活動への協力などについて意見交換をさせていただきました。

また、今年国連が定めた「2025国際協同組合年」であります。これは国連が、SDGsの実現に向けた協同組合の実践や、社会・経済の発展への貢献に対する認知を高め、協同組合を振興することを各国政府などに求めて、2025年を2回目の国際協同組合年に定めたものです。一方私たちは「労福協の2030年ビジョン」において、労働組合と協同組合が連携・協働し、共助の輪を広げ、すべての人のくらしを生涯にわたってサポートすることを確認しており、安心して働き暮らせる持続可能な社会をめざすスタンスは軌を一にしています。

中央労福協との連携をはかりながら、「2025国際協同組合年」を契機とした協同組合運動・労働者福祉運動のさらなる発展や地域でのつながりをめざした取り組みを進めてまいりたいと思います。

労福協では、「2030年ビジョン」がめざす社会像として、「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で安心して働き暮らせる持続可能な社会」の実現を掲げています。

働く仲間同士で助け合い・支え合う、労働者福祉運動のさらなる充実をめざして、ともに取り組んでまいりましょう。

皆さんにとりまして、実り多き一年となりますよう心より祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

本年もよろしくお願ひいたします。労福協役員一同

役職名	氏名	選出団体	役職名	氏名	選出団体
理事長	友田 孝行	連合熊本(電機連合)	理事	小 材 和 博	連合熊本(電機連合)
副理事長	峯 潔	福祉事業団体(九州労働金庫)	理事	松 元 寿 幸	連合熊本(情報労連)
副理事長	園 田 海 舟	福祉事業団体(こくみん共済coop)	理事	園 田 立 児	連合熊本(電力総連)
副理事長	山 野 雄 一 朗	連合熊本(運輸労連)	理事	矢 野 良 輔	連合熊本(交通労連)
専務理事	石 本 治 行	福祉事業団体(こくみん共済coop)	理事	山 本 寛	連合熊本(情報労連)
理事	木 村 光 伸	連合熊本(自治労)	監事	村 枝 哲 弥	連合熊本(熊教組)
理事	黒 木 浩 太	連合熊本(自動車総連)	監事	嶋 田 重 信	福祉事業団体(九州労働金庫)
理事	安 本 浩 志 郎	連合熊本(JP労組)	監事	徳 富 幸 平	連合熊本(自治労)
理事	西 広 継	連合熊本(UAゼンセン)			

福祉事業団体 新年のご挨拶 “皆さんと乙巳(きのと・み)の年、飛躍を”

新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、日頃から労働金庫の事業と「ろうきん運動」に対してご理解とご協力を頂いていますことに感謝申し上げます。



九州労働金庫
熊本県本部
本部長
峯 潔

昨年、1月1日に発生した能登半島地震や8月の日向灘地震をはじめ、自然災害が頻発しました。また、生活面では物価高が止まらず、家計を圧迫してい

新年を健やかにお迎えられたこととお慶び申し上げます。



こくみん共済
Coop熊本推進本部
本部長
園田 海舟

旧年中は、熊本推進本部の事業活動にご支援ご協力を賜りましたことに御礼申し上げます。昨年も元日の能登半島地震をはじめ全国各地で自然災害が発生し、九州では8月の日向灘地震と台風10号による被害を受け、近年は災害規模が甚大化、頻発化、広範化

明けましておめでとうございます。旧年中は、ユニオントラベル熊本へ



ユニオン
トラベル熊本
理事長
安本浩志郎

のご利用、ご協力をいただきました皆さまへ心より感謝申し上げます。2024年は、元日に発生しました「能登半島地震」により、建物倒壊や土砂災害による多くの被害が発生しました。また、復旧復興の最中、9月には「能登半島豪雨」が発生し、甚大な被害が出ました。地震や豪雨により、お

ます。少子高齢化・人口減社会は進展し、社会保障をはじめ先が見通せない不確実な時代となっており、労働者を取り巻く環境は、厳しさを増しています。

今年は、「乙巳(きのと・み)」の年です。「今まで積み重ね努力してきたことが、芽吹き花開く年」になると言います。2025年は、労働者の力で新たな時代を切り拓き、私たちの生活が大きく向上する年にしなければなりません。

九州労働金庫は、厳しい不確実な時代であるからこそ、「はたらく人にとって、最も身近な金融機

しています。改めまして被災されました皆さまへお見舞い申し上げますとともに、いつでも起きるかわからない自然災害への備えをお願いいたします。

熊本推進本部では、重点共済「マイカー共済、住まいる共済、団体生命共済」と「保障と貯蓄を兼ねた商品」を皆さまの保障を見直しすることで、可処分所得の向上に繋がる提案活動を行っています。

また、昨年4月より風水害の保障を手厚くした「住まいる共済」は、全国どこにお住まいでも一律の掛金とし、まさに助け合いの仕組みを堅持

亡くなりになられた方へお悔やみを申し上げると同時に被害に遭われた多くの方々へお見舞いを申し上げます。

ユニオントラベル熊本としても、「能登半島支援物販」の取り組みを行ってきたところですが、早期の復旧復興を願うところです。

さて、昨年の経営状況につきましては、ご支援をいただいた多くの皆さまのおかげを持ちまして、ユニオントラベル熊本は「黒字運営」を継続することが出来ました。本当にありがとうございました。

そして、「理事会」並びに「職員」の皆さまの日々の献身的な業務や取

関」として「生活設計」「生活改善」「生活防衛」を3本柱とする「しあわせ創造運動」を会員の皆様との連携・協働により深化させ、可処分所得の向上、資産形成に取り組んでまいります。労働金庫を様々な場面でご活用いただきますようお願いいたします。

熊本県労働者福祉協議会の理念である安心・共生の福祉社会の実現に向けて、構成組織の一員として、これまで以上に取り組みを進めていくことを決意して年始のご挨拶といたします。

本年もよろしくお願いいたします。

しています。火災共済は、昨年12月で誕生70周年を迎え、これからも住まいの備えにお役に立てられる共済として、自然災害共済とのセットで加入促進に取り組んで参ります。

こくみん共済 coop は、これからも労働者福祉事業体として培った運動をさらに強化し、お役立ち発想と共創で時代の変化への順応性や多様性をめざして参りますので、今後とも皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さまとご家族の健康と安全をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

本年もよろしくお願いいたします。

り組みにご尽力いただいた賜物だと思っております。

2025年の新年を迎えるにあたり、今年も「幸せな年」であるために、ユニオントラベル熊本を引き続きご利用頂き、「組合員」と「組合員の家族」の「幸せな一年」にしていただくと幸いです。

2025年も「熊本県労働者福祉協議会」の構成組織の一員として、皆さまとさらに前進していけるよう、理事会並びに職員一同、一緒になって取り組んでいきたいと考えております。

引き続き本年も「ユニオントラベル熊本」をよろしくお願いいたします。

2024年度 連合熊本・県労福協合同研究集会開催

「持続的な農業と食料安全保障の強化に向けて」を演題に金田 直樹氏が講演

2024年11月22日(金)にANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイにおいて、111名参加のもと「2024年度連合熊本・熊本県労福協合同研究集会」を開催しました。

まず、福祉事業団体である九州労働金庫熊本県本部(峯潔本部長)、こくみん共済coop熊本推進本部(園田海舟本部長)、ユニオントラベル熊本(青木栄専務理事・岩佐孝史事務局長)からの報告・提起とライフサポートセンターくまもと(古澤利光相談員)から相談状況の報告があり、参加者全員で共有を図りました。

その後、「今後の食料事情を考える」というテーマのもと、九州農政局企画調整室・金田直樹室長をお招きし、「持続的な農業と食料安全保



九州農政局企画調整室
金田直樹室長

障の強化に向けて～国民一人一人の食料安全保障／持続可能な食料システム」を演題に、九州における食料自給率や耕地利用率、直面する課題としての担い手不足、気候変動による自然災害やウイルス・害虫の影響、食品アクセスの問題などについて説明をいただき、それらの問題・課題を解消するため、また食料の安全保障を確保するために国や地方自治体、農業に携わっている方々がどのように対策等を考えられ、実施されているかご講演いただきました。

私たち消費者は、お米や野菜の値段に日々関心を持ち、やりくりをしな

がら生活を送っていますが、世界的には人口増加が続くなかで食料を確保していくためには、もっと多角的な視点で考えていかなければならないこと、特に農業に携わっている方々が持続的に営まれるようにするためには、私たちの考えを少し変える必要があることなど、気付きの多い講演となりました。講演いただいた金田室長、参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



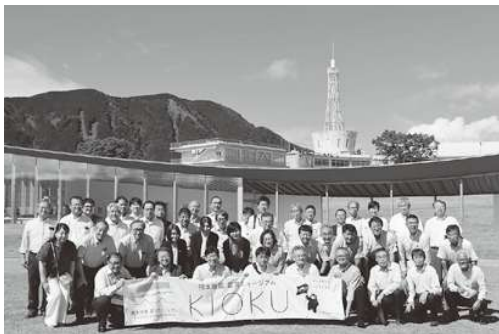
熊本地震 震災ミュージアム「KIOKU」視察

～大規模災害への備えを考える～

「2024年度南部労福協研究集会」の2日目である2024年10月18日(金)、フィールドワークとして九州・沖縄各県からの参加者46名で「熊本地震 震災ミュージアム『KIOKU』」を視察しました。

熊本地震はご存じのとおり、歴史上例のない震度7の揺れが28時間以内に2度発生し、死者273人、負傷者2,739人、住宅被害198,655棟を数える大規模災害でした。(2024.03.13時点)

熊本地震から8年を迎えようとす



る2024年1月1日には、北陸地方で死者・行方不明者404人、負傷者1,336人、住宅被害133,037棟(2024.10.01時点)の能登半島地震が発生しました。この地震で、熊本地震のことを思い出された方も多かったのではないのでしょうか。

地震はいつどこで起こるか分かりません。大きな地震が起きれば熊本地震、能登半島地震、さかのほれば阪神淡路大震災、東日本大震災のように大きな被害をもたらします。

しかし、復興が進み、仮設住宅が閉鎖されていくとともに、記憶や経験が薄れ、未だに苦しんでいらっしゃる方々への思いも至らなくなってしまうような気がします。

2024年には震度5弱以上の地震が27回(2024.11.26時点)発生しています。

辛かったことを思い出すこ



▲震災遺物や被災状況の写真を展示

とになるかも知れませんが、想定される南海トラフ地震などに備え、経験や教訓を呼び起こすため「熊本地震 震災ミュージアム『KIOKU』」を訪れてみてはいかがでしょうか。

身を守るため、「家具の固定」、「安全スペースの確保」、「周囲の状況の確認」、「備蓄・非常持ち出し品の準備」、「連絡手段の確認」など日頃からの備えも忘れずおこなひよう。

▶地面の隆起や亀裂、地面の横ずれを見ることが出来る



2024年度を振り返って | 相談内容と課題

ライフサポートセンターくまもと

2024年度の相談件数は79件と昨年の91件から若干の減少となりました。相談については2021年12月から原則として連合本部が全国からの相談を一次的に受け、内容により必要に応じてライフサポートセンターくまもとに対応を任せられる制度になっていますが、直接相談に見える相談者もある状況です。

相談経路は「ホームページを見て」との回答が約4割であり、ネット

を通じての相談が年々増加し、Web媒体を通じた周知がますます重要になってきています。

年齢層は20代から60代まで幅広く、正規・非正規では正規雇用の方からの相談割合が約6割を占め、非正規よりも若干多い状況です。相談内容は、今年初めてハラスメント関係の相談が最も多くなりました。その他には、解雇・雇止めといった雇用問題や、一方的な賃金条件の

改善、当初示されていた条件と違うといったものが多く見受けられます。

また、職場の多くの労働者が問題に感じている相談も少なくなく、その場合は労働組合の結成についてもアドバイスし、連合のオルガナイザーとも連携して対応をしています。なお、生活困窮からの相談も増えており、行政や社協、その他支援を行っている民間団体等との連携が重要になっています。

いのちと健康が
なによりも大切にされ
一人ひとりがかけがえのない
存在として尊重される
そんな医療と社会を
めざしています



〒861-2105 熊本市東区秋津町秋田 3441-20 ☎096-368-6007

医療法人社団熊本労安会

秋津レークタウンクリニック

■診療科目 / 内科、小児科、神経科、リハビリテーション科

●理事長 / 木村 孝文 ●院長 / 山口 秀樹
●入院 / 無 ●駐車場 / 有

・診療受付時間 (日曜日・祭日休診)

月～金曜日 / 午前 9:00～12:00 午後 14:00～18:00
土曜日 / 午前 9:00～12:00 午後 13:30～15:00

※ただし、木曜日の午後と土曜日の午後は鍼灸はお休みです。

(一財)熊本県労働者福祉会館

労働者福祉会館はいつでも、だれでもご利用できる施設です。

- ・研修、団体やサークルなどの会議
- ・パーティーや各種会合、打ち上げなど
- ・車いすの方もご利用OK、トイレ完備



熊本市中央区九品寺 1 丁目 17-9
TEL 096 - 362 - 1201
FAX 096 - 362 - 1203

ユニオントラベル熊本からあなたへ

ユニオントラベル熊本 協定旅館に泊まって 豪華賞品をgetしようキャンペーン

賞品総数
約 20 本

キャンペーン期間：2025年2月1日(土)～4月30日(水)

ユニオントラベル熊本の協定旅館にお泊りいただくと抽選で50型テレビやとってもステキな賞品があたるキャンペーンです。

(ユニオントラベル熊本への申込みが必要です)

県内外協定旅館

■ 熊本県

(熊本市内) ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ (人吉温泉) 清流山水花 あゆの里
(熊本市内) ホテルマイステイズ熊本リバーサイド (人吉温泉) ホテル華の荘
(熊本市内) 熊本グリーンホテル ■ 佐賀県
(菊南温泉) 菊南温泉ユウベルホテル (川上峡温泉) ホテル龍登園
(阿蘇地区) 亀の井ホテル阿蘇パークリゾート (武雄温泉) ホテル春慶屋
(山鹿温泉) ゆとり山鹿 (嬉野温泉) ホテル華翠苑
(山鹿温泉) 富士ホテル ■ 長崎県
(玉名温泉) ホテルしらすぎ (長崎市) 稲佐山観光ホテル
(菊池温泉) 菊池グランドホテル (長崎市) 矢太楼・矢太楼南館
(天草温泉) ホテル松竜園 海星
(湯の尻温泉) 海と夕やけ

宿泊代はご利用日で異なります。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ
先は



生協 法人 ユニオントラベル熊本

TEL(096)371-2022 FAX(096)363-2866

熊本市中央区九品寺1丁目17-9-2F 熊本県知事登録2-34号 総合旅行業務取扱管理者 堀内 淳

編集後記

■2025年巳年のスタートです。巳年は、脱皮する蛇のイメージから「復活と再生」を意味し、植物に種子がぐんぐんはじめる時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になると言われています。過去の巳年には、「アベノミクス」の始動(2013年)、小泉政権発足・構造改革スタート・米国で同時多発テロ(2001年)、元号「平成」の始まり・消費税のスタート・「ベルリンの壁」崩壊(1989年)などの出来事が起こっています。また、干支でいうと乙巳(きのとみ)となり、さらなる成長を目指して力をためる時期、そのために努力の成果を試すときになるそうです。過去の失敗も新たな成長へと変える絶好の年となるよう、今まで胸に秘めてきた夢・着々と準備してきたことに思い切ってチャレンジしてみてもどうでしょうか。

■「福祉はひとつ」労福協の創業時からの理念です。すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、本年も連帯・協同で安心・共生の福祉社会実現のための運動を推進していきます。皆様のご協力をお願いします。